

「子ども」に関する新型コロナウイルス感染症の情報

作成：伊良波小学校PTA 作成：2021年8月1日

医療機関等が発信している、子どもについての新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報を、伊良波小PTAでまとめました。子どもや家庭の感染予防対策の参考としてご活用ください。

子どもに関する傾向は…

- ・子どもの感染者数は大人より少なく、変異株になっても傾向はあまり変わっていません。
- ・子どもの感染の7割は家庭の保護者から。周囲の大人の感染対策が重要です。
- ・変異株に感染しても、子どもの多くが無症状から軽症で経過しています。
- ・長引くコロナ禍は、子どもの精神的負担も懸念されています。
- ・熱中症を予防するため、屋外で適切な距離を取れる時にはマスクを外しましょう。

子どもの感染経路について

厚生労働省の年齢別陽性者数（5月5日時点）では、総感染者602,190人のうち、10歳未満は18,642人（3.1%）、10歳-19歳は42,333人（7.0%）と、成人より少なく、10代以下の死亡者は0人です。

また、2021年5月11日時点で、小児患者の感染経路は、家族が77%、学校関係者が6%となっています。さらに、家庭内感染のうち、両親や祖父母が先に感染していた割合が約93%と、小児患者の大部分が成人からの感染となっています。

また、変異株により、子どもから他者への感染も増えていますが、成人からの感染の方が多い傾向は変わっていません。

※日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会『小児における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現状と感染対策についての見解』から引用

7月の県内の感染拡大と子どもの状況

沖縄県の7月19日～25日の新規陽性者数は992人でしたが、そのうち、園児、生徒、学生の感染事例は16%で、小中学生の感染者が48人から109人と大きく増加しました。

県内では、学生で1名でも陽性者を確認したら、クラス全員のPCR検査を実施しています。7月17日～23日は、35クラス、1,303人に検査を実施しましたが、陽性者は5名のみでした。このことから、小児の多くが家庭内感染であると考えられます。

※沖縄県疫学統計・解析委員会資料

感染リスクの考え方

2020年12月28日の沖縄タイムズ記事『コロナ禍の子、感染対策は？』にて、感染予防のためのリスクの考え方が掲載されていました。

高リスク	・友人・親族の家に宿泊（帰省など）	他人の家に宿泊したり、一緒に食事をするのは大きな感染リスク
	・友人宅でのホームパーティーに参加	
低リスク	・同僚と飲酒を伴う宴会（忘年会）	強く自粛を推奨するライン
	・友人とカラオケ（マスクなし）	マスクを外すイベントは感染リスク。飲酒と長時間が増大させる
	・友人とレストランで食事	自粛を推奨するライン
	・友人とゴルフ（会食なし）	野外やマスクを外さないイベントの感染リスクは高くない。長時間や密接は高まる
	・友人と映画館で観賞	同居する家族とのイベントは新たな感染リスクと考える必要はない
	・友人とショッピングモールを歩く	
	・友人と公園を散歩	
	・家族とホテルに宿泊	
	・家族とレストランで食事	

※高山義浩医師監修

コロナ禍ではありますが、少しでも安心して、充実した夏休みを過ごせますように。

熱中症とマスクの考え方

厚生労働省では、「マスク着用により、熱中症のリスクが高まります」と注意を呼びかけ、屋外で十分な距離が離れている時は、マスクを外すよう呼びかけています。（裏ページ参照）

学校でも呼びかけていますが、家庭でも、熱中症予防のためのマスクの使い方を、子どもと確認をするようにしましょう。

引用：

- ・公益社団法人日本小児科学会ホームページ
- ・沖縄県疫学統計・解析委員会資料
- ・厚生労働省ホームページ 新型コロナおよび熱中症関連情報ページ

熱中症予防 × コロナ感染防止で

「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。



熱中症を防ぐために

マスクをはずしましょう

ウイルス
感染対策は
忘れずに!



屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

（ マスク着用時は ）



激しい運動は避けましょう

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう



気温・湿度が高い時は

特に注意しましょう

